

森づくり最前線

会津森林管理署南会津支署 湯ノ花森林事務所 森林官 井上 賢



世界的にも珍しい形状の田代山湿原

当湯ノ花森林事務所は、福島県南西部の栃木県境に位置する南会津町 舘岩地区(旧舘岩村)に所在し、田代山・帝釈山を源頭した西根川から舘岩川合流域を囲んだ山々の約1万3千鈔を管理しています。この地域は四方を標高1500m級の山並みで囲まれた山村環境であり、気候は夏は朝夕しのぎやすく、冬は厳しい日本海型の豪雪地帯に属しています。越後山系から連なる帝釈山(標高2059.6m)を最高峰に、尾瀬国立公園に指定されている田代山や長卸山・七ヶ岳などの山々に囲まれた当地には、毎年多くの登山客が訪れます。特に、田代山には世界的にも希少とされる台形状の湿

原が存在し、約400種にも及ぶ貴重な高山植物がみられる隠れた名所で、四季折々の風景を観ながら登山を楽しむことができます。

また、舘岩川水系の溪流(舘岩川・湯ノ岐川・鱒沢川・西根川)では、4月上旬から10月中旬にかけて溪流釣りが、また冬季では、厳寒地特有の良質なパウダースノー(水分の少ない粉状の雪)を背景に、スキーをはじめとしたウィンタースポーツが盛んに行われており、年間を通じて地元住民や観光客に親しまれています。

それから、曲家(まがりや)と呼ばれる草ぶき屋根の民家が村のかしこに残り、舘岩にある前沢集落(23戸の内、現在10戸の曲家が建ち並ぶ。)では、花しょうぶ園や螢の里などとともに公園として日本の原風景を觀賞することができます。周囲の山々とイワナが棲む川、そして風情漂う温泉(湯ノ花温泉・木賊温泉)があるという「隠れ里」的な環境が、田舎好きな観光客を現在も魅了し続けています。

当事務所管内国有林について概観すると、そのほとんどが「奥会津森林生態系保護地域」および「緑の回廊」に指定されており、ブナやミズナラなどを中心とした天然林が広がっています。そのため人工林はごくこ

く限られています。今年には保育間伐活用型による素材生産も予定されています。その他では、「レクリエーションの森野外スポーツ地域」として、国有林野の一面がスキー場として提供されているほか、分収造林地の一部では、芝浦工業大学学校分収造林『芝浦創造の森』やさいたま自然の家の学校分収造林『体験の森』として学生の林業体験の場として活用されており、林業体験では南会津支署からも講師として参加しています。



柏中学校による林業体験

歴史的少雪であったことで今年4月中旬から現場巡視が可能となっておりますが、その反面、山火事が例年以上に発生する恐れもあり気が抜けません。

また、当事務所管内においても、熊や鹿による剥皮被害が目立つようになってきています。少雪により我々人間に限らず鳥獣の活動も例年以上に早くなる可能性もあり、被害状況の把握と剥皮被害防止対策を検討の上、地域関係機関との連携をいっしょに図っていききたいと思います。

最後に、昨年9月の台風による豪雨は、国有林、民有林を問わず南会津支署管内全域に大きな爪痕を残し、当事務所管内にも現在も通行ができない箇所が多数存在している状況です。今後各種事業を実行していく中で様々な諸課題が生じるかと思いますが、支署職員の先輩方、地元の方々のご協力をいただきながら、地域の関係機関等と連携し、舘岩の魅力を少しでも引き出せるよう微力ながら貢献していききたいと思います。

業務について述べると、当事務所は上述のとおり豪雪地のため、例年5月上旬～11月上旬までの限られた期間で段取りよく現場業務を遂行する必要があります。この点、昨冬が

発行所 関東森林管理局
編集 総務課
TEL(027) 210-1158
FAX(027) 2300-1393